



DNW-24013 の概要

課題名 : 扁平上皮癌を標的とした酵素 X 阻害剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

鈴木 元 (学校法人藤田学園藤田医科大学医学部)

ステージ : 標的検証後期

【標的疾患】

扁平上皮癌

【創薬標的】

扁平上皮癌に高発現する酵素 X

【創薬コンセプト】

細胞増殖の盛んな扁平上皮癌に高発現する酵素 X を標的とする選択的な低分子阻害剤の開発

【ターゲットプロダクトプロファイル】

扁平上皮癌に対する細胞増殖抑制活性効果を発揮して根治に導く薬剤

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 酵素 X が臨床検体、ゼノグラフトモデルマウスともに細胞増殖の盛んな扁平上皮癌に高発現していることを確認した。
- 2) 2 種類の異なる配列を用いた RNAi 実験にて、酵素 X をノックダウンすることにより、扁平上皮癌細胞の増殖能が著しく低下することを確認した。

【科学的、技術的な優位性】

- 1) 酵素 X を扁平上皮癌の治療における標的分子とする研究は、新規性と独創性が高い。
- 2) 酵素 X 阻害剤は、扁平上皮癌を対象とする既存各種抗癌剤、分子標的薬や免疫チ

チェックポイント阻害剤とは標的分子が異なることから、将来的に既存薬との併用、または既存薬による効果が十分でない患者に対しての使用が期待できる。

【支援ステージにおける目標】

- ・扁平上皮癌に対する酵素 X の創薬標的としての妥当性を確認する。
- ・酵素 X 選択的阻害剤創製のポテンシャルを見極める。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。